

憲法第九条

戦争の放棄

- 1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

浜通り医療生協ニュース

2023年1・2月 第272号



医療福祉生協連

発行 浜通り医療生活協同組合 編集 機関紙編集委員会
〒971-8151 いわき市小名浜岡小名字山ノ神40
組織部 92-3099 FAX 92-3105
ホームページ <https://www.hamadori-coop.jp>



私たちの現況

(2022年11月30日現在)

組合員数 14,426人
出資金総額 5億75万円
一人当たりの平均 34,711円



2023年

あけましておめでとうございます



新年のご挨拶

理事長 菅家 新

明けましておめでとうございます。

昨年六月の総代会で理事長になって早半年が過ぎ、医療生協の全体像を理解するのに時間を費やしている日々です。

さて、震災後もいくつかの大災害がありました。大きな被害がある地域の中で人的被害のない集落がいくつかありました。その集落の特徴は、普段からお互いに付き合いがあり、各家庭の状況が集落の人たちに知られていたという事実があります。倒壊した家屋から家人を救い出したのは、救助隊ではなく、隣人たちでした。

歴史上、ネアンデルタール人からホモ・サピエンスと人類は進んできました。この二つの人類は重なっているようです。その特徴は狩猟にあったと言い、ネアンデルタール人は、強靱な体の持ち主であったため一人です。一方の方法だったそうです。一方のホモ・サピエンスの体は「脆弱」だったために集団で獲物を獲得していったのだと言います。その結果、集団

で獲物を獲得していったホモ・サピエンスが勝り生き残ったというのです。これは人が社会的な動物であるという証でしょうか。

その上で、原発事故が奪った最大なものとは、隣人たちと切り開いてきた祭りや季節を彩る行事、先祖伝来の子どもたちの踊りなど、その土地特有の文化が壊されてしまいました。それは地域の人々の生活の営みの中から生まれた祭りであり、踊りであったわけですが、時間の縦軸と横軸の交わりの中で出来てきたものが、原発事故で破壊されてしまったのでした。生活の営みの中から生まれた文化でありながら、文化を守る生活にもなっていたのです。それが地域の人々のきずなとなってきたのに、破壊され、生きる根っこを奪われ、生きがいの生活を奪われてしまったのです。

浪江町の津島地区は、みんな帰って以前の生活をとり戻そうとしています。が、国や東電は帰るための除染すら実施しませんし、

事業所のご案内

小名浜生協病院	☎ 53-4374
付属せいきょうクリニック	☎ 53-4372
介護医療院	☎ 53-4374
地域連携支援室	☎ 53-4374
在宅福祉センター	☎ 92-2400
訪問看護ステーションかもめ	☎ 53-5190
通所リハビリテーション	☎ 73-8760
デイサービスセンター岡小名	☎ 73-3900
ヘルパーステーション	☎ 92-2480
特別養護老人ホーム にじの郷	☎ 73-0266



事故以来十二年になろうとする現在でも除染の計画すら立てようとしていません。これまで記述してきましたことは順不同な事柄ですが、私たちの生活の教訓です。生協は「ひとりとはみんなのために、みんなはひとりのために」ということばがあり、人の生き方と言っていることばだと思えます。人の進む道だと理解していいのだからと思えます。このことを実現するための仕事は極めて困難なことです。が、私たちはその困難な事業に「医療生協」として臨

んでここまで来ています。そして、もう一歩進もうと、もう一段高く登ろうと、研修体制を有意義なものにしようと思ひはじめています。私たちの足腰の強さは、班活動、支部活動にあると思います。それらの活動が活発にできるように、組合員の声がよく反映される活動ができるように、よりよい条件整備に努めたいと思います。何よりも若者たちの力を応援したいと思ひます。将来の医療生協運動のために、共に努力しましょう！



等身大パネルと理事長 ※パネルはクリニック内にあります

新年のご挨拶



小名浜生協病院
院長 箱崎 正敏



新型コロナウイルス感染症は対岸の火事では終わらず、瞬間に全世界に広がり、歴史的パンデミックとなり三年が経過しました。変異しやすいRNAウイルスであるため強毒化する虞もあり十一月月上旬時点では幸運にも弱毒化に向かっているように思われます。しかし、自然の気紛れこそ進化の本質なのでそこから予断は許しません。マスクをかけた人の顔しか見ることがない幼児が増えました。恐怖を煽るメディアによりうつ病が増えました。閉じ籠りによりフレイル・サルコペニアが悪化し、血糖が上昇しました。超清潔社会になりアレルギー増加が危惧されます。病院の實力が露わになり病院間の入院患者数に偏りが出るようになりました。病院も淘汰されます。他院と連携しながら多様なニーズにこたえられる地域の病院として貢献度を更に高めるための創意が求められています。



小名浜生協病院付属
せいきようクリニック
所長 加藤 新



新年あけましておめでとうございませう。皆様、昨年ほんの一年だったでしょうか？私事で申し訳ありませんが、昨年はユーチューブでの医学情報の発信を通して全国の方々と交流を深められた一年でした。そこで学んだのは情報を発信することとみてもらう工夫が大切ということ。教えることは学習の最も効果の高い方法と言われますが、それは情報を咀嚼して自分の言葉にする過程で知識が沈着するからで、工夫するのはみてもらえる形にしないとそれが多くの人に伝わらないからです。皆さんも日々情報を得て、様々な活動をされていくと思えますが、それを人に伝えるように意識し、多くの人に見てもらえるよう工夫すると活動の幅が劇的に広がっていくことと思います。

「どんな経験もきつと誰かの役に立つ」と信じて今年も一年、また一緒に頑張っていきたいと思います！

年男・年女の職員から
2023年の抱負



二階病棟
渡邊 園江

十二年前に五歳だった息子は高校生になりました。一番下の子は小学一年生です。今年は私の年うさぎ年です！毎日明るく元気に、子育てに仕事にもっともつと頑張ります。



三階病棟
加藤 瑠菜

現在の職務を更に極めつつ、これからも部署間のコミュニケーションが円滑に行われるように動ける事務を目指します。



デイサービスセンター
岡小名
柴田 悦子

看護師になり二年目となりました。二年間で多くのことを学び成長することが出来ました。毎日の仕事の中でまだまだ未熟であると痛感しています。より向上心を持ち成長していけるよう努めていきます。



健康管理室
遠藤 実穂

私にとって今年、勤続十年という節目でもあります。

六回目の年女を迎えました。去年はじめて利用者様の前で健康ダンスを踊りました。今年も敬老の日に踊れるよう頑張りたいです。もちろん、仕事も頑張ります。



栄養科
松本麻夕美

私は今年で勤続十七年目となります。栄養科の人員不足も少しずつ解消され安定していると思います。今の目標は誰が調理しても同じレベルの食事を提供することです。個々のレベルアップと技術の統一を目指します。



在宅福祉センター
池川恵理子

心に乱れがあると、集中力や判断力が低下し、ケアマネジメント業務に影響が出てしまうので、来年は心穏やかに余裕を持って仕事をしたいです。ほどほどに頑張ります。



医事課
鈴木 拓実

山の患者さんに接していると徐々に体の動きや反応に差が開いてくる事に気づかれます。お元気な患者さんに極意を伺いながら体力が衰えぬよう筋トレと蛋白質の摂取に励みます！



検査科
椎名 千華

普段のエコー検査で、沢

今年で年男だということ、いつの間にか、と感慨深く思います。十二年前を思い出せば、ちょうど東日本大震災の年。あるとき病院でいろいろなことをやってきたことが、ついこの前のことのようにです。あれから十二年経ち、その間にどれだけ病院が地域の方々に貢献できたのかを考え、これから地域のみなさんの期待にこたえられるよう頑張ります。

住所不明の組合員の「みなし自由脱退」手続きについて

転居等により住所の確認ができなくなっている「みなし自由脱退」手続きの対象となる組合員が2022年3月現在343人います。この方々について、定款第10条第2項および、「みなし自由脱退手続きに関する規約」に基づき、2023年3月末日をもって、みなし自由脱退手続き処理をいたします。つきましては、お心当たりのある方は 組織部にて住所変更手続きをお願いいたします。尚、1月4日～2月4日の期間中、対象の組合員名簿を生協病院・クリニック・組織部に設置しています。【連絡先】組織部 (☎0246-92-3099) 2023年1月1日 浜通り医療生活協同組合 理事長 菅家 新

★読んでみてからクイズ272号★

日常生活動作の回復支援を行っている療法士は？ ○○療法士

クイズ当選者には、まちかど健康チェックで場所を提供していただいているマルトの商品券1,000円を抽選で5名に贈呈します。みなさまのご応募お待ちしております。(当選時の宛先、ご住所をお忘れなく) メ切は 2023年2月末日 消印有効 当選発表は274号にて 応募先 はがきは... 971-8151 いわき市小名浜岡小名字山ノ神40 医療生協ニュース「272号」係 電子メールは... info@hamadori-coop.jp 題名を「272号クイズ応募」とお願いします

職場紹介 第1回 リハビリテーション科



リハビリテーション科のみなさん

このシリーズは、私たち職員の職場を自分たちで紹介していきます。患者さん、利用者さんの元氣のお手伝いをしている私たちをぜひ知ってください！

私達リハビリテーション科には、理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士1名のセラピストが働いています。

理学療法士は
筋力トレーニングや関節運動をしつつ、寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの基本的な動きの回復をメインに関わります。

作業療法士は
食事、トイレ、着替え、家事などの日常生活動作の回復に加えて精神的な回復の支援も行っています。

言語聴覚士は
失語症などコミュニケーションの障害や嚥下（飲み込み）障害のリハビリを担当しています。



気合を入れて歩きます

それぞれの病棟とリハビリの目的

三階病棟は入院期間が最大60日間で在宅生活を目指す病棟です。退院に向けて在宅生活（自宅や施設）が安全に送れる体づくりを目標にリハビリをします。

二階病棟は長期に入院が必要な方の為の病棟です。長い入院生活の中で体力を落とさず、状態を維持できるようにリハビリを行います。

リハビリの流れ

医師の指示を受け取った私たちは、本人や家族の希望の聞き取り、関節の動きや筋力、痛みの有



歩く前には足の運動をしています

無、認知症の有無や程度、動作がどこまでできるのかなどの検査を行います。検査結果を受けて「こんなリハビリをします」というリハビリの計画を立て、それに沿ってリハビリを行います。

リハビリの内容

筋力や体力が低下すると多くの人は力んでしまい、思うように体を動かせなくなります。体をほぐし動かしやすくしてから、寝返りや起き上がり訓練、座位、起立・立位訓練と基本的な動作練習をします。そして歩行練習、階段昇降、バランス練習などをして徐々に体力アップや転倒しない体づくりを努めます。

手に問題のある方や認知症などで意欲の低下が



酸素療法をしても歩くリハビリができます

リハビリで注意すること

「頑張ればよくなる」と大概の人は思うことかもしれません。しかし、何事も適度な量というものがありません。私たちは、血圧や脈拍、血中酸素濃度などを計測し、負担がかりすぎないように注意しています。動悸や息切れなど自覚症状も大切な判断基準です。

また、体が思うように動かない状態の方に動いていただくので転倒の危険性があります。介助の仕方や訓練の方法、量の設定など私たちは安全にリハビリが受けられるよ



粘土で指先の訓練をしています

退院に向けての準備

当院では毎週患者さん

の状態やリハビリの進捗状況、今後の見通しなどを話し合うカンファレンスを行っています。医師、看護師、薬剤師、栄養士、相談員、そして私達それぞれ専門的な視点から、患者さん・家族にとってどのような支援が望ましいかを話し合います。手すりやベッドなどの環境整備を行う為に自宅に訪問することもあります。自宅でできる体操や介助方法などの説明、退院後に利用する福祉サービスのスタッフへ情報共有を図ったり様々な支援を行います。こうして私たちリハビリスタッフは退院まで患者さんをサポートします。

次号は通所・訪問リハビリの紹介です。

地域発信 あれこれ

わがまちのおすすめ

第一回 四倉支部

今月からシリーズで、浜通り医療生協で活動している十一支部のみなさんが、わがまちのおすすめを順番で紹介していきます。ぜひ記事を参考に読者のみなさんもそれぞれの地域へ足を運んでみてはいかがでしょうか？



1 忠魂碑(日出ヶ岡公園)



日出ヶ岡公園

支部の花見行事やラジカステラ、組合員が階段(六七段)上りをして脚

2 四倉海水浴場

力強化する場所が忠魂碑です。見晴らしが良く街並みや海岸が一望できます。戦没者の名前が刻まれている慰霊碑があり夏には慰霊祭が行われます。春には桜が満開になります。

力強化する場所が忠魂碑です。見晴らしが良く街並みや海岸が一望できます。戦没者の名前が刻まれている慰霊碑があり夏には慰霊祭が行われます。春には桜が満開になります。

3 サーフィンビーチ四倉



サーフィンビーチ四倉

四倉の波は極上と言われ、一年中サーフアタチが集まります。車のナンバーは東北、関東地方のあちこちから来て楽し

駐車場完備、道の駅が入り口にあり、年々人気が上がっています。海水浴場を守っているのは区長会。海の事故を未然に防ぐために監視に精をだします。



四倉町海水浴場

4 ビーチバレーボール四倉大会

ビーチバレーボール四倉大会 実行委員長 石井和男さんから 以前には県内外から一〇〇チームの参加者があり大変盛り上がりを見せていた大会ですが、東日本大震災で三年、コロナ禍で二年間中断を余儀なくされました。今年の七月には第二十五回を無事開催する事が出来まし



ビーチバレーボール四倉大会

四倉の海に欠かせないのがビーチバレーボール四倉大会。今年市内あちこちから三〇チームが参加。徹底したコロナガイドラインを守りながら三年振りに開催され大変盛り上がりしました。

んでいます。全国からレベルの高いサーファーが集まる大会も開かれております。全日本級別サーフィン選手権や東日本選手権大会などはお馴染みになっていきます。

四倉支部の紹介

四倉支部は二〇〇九年に誕生し今年で一四年になります。現在組合員三八三人、十一班。石井和男さんは「あすなろ班」と「ウォーキング班」の班長も務める支部の要であり、四倉の有名人とと言ってもいいでしょう。

新班紹介 泉支部 「いずみウォーキング班」

日頃の運動不足の解消や健康のため無理なく楽しめるウォーキングを広げようと「いずみウォーキング班」を立ち上げました。毎月第二木曜日(雨天時は第四木曜日)に開催し初回の一〇月には七



名の参加。好天の中賑やかに六キロのウォーキングで心地よい汗をかき、参加した非組合員二名の方が即組合員に加入してくれました。毎回コースを変えながら泉地域の史跡巡りを取り入れる等、四キロから六キロをウォークします。また事前にコース等を下見し安全に努めています。班員募集のチラシを配布し、十一月の二回目は三名が新たに加わり班活動に活気が生まれ、コロナ禍でも強い班活動を目指しています。



取材後記

日出ヶ岡公園。写真を撮ってきたよと四倉支部の石井和男さんに伝えると「あそこは自分が子供の頃には櫓があつてね、父が監視所で太平洋から来る飛行機を監視していた場所だ」「母親と一緒に父へ手を差し入れに行つたな」と当時の話を聞かせてくれました。高台にある忠魂碑を見て、戦争の悲惨さを決して忘れてはいけなと改めて思ったのでした。(立石)

